

**令和2年度 第1回港区区政会議(書面開催)**  
**配付資料にかかる意見内容と区役所の対応・考え方**

意見内容	区役所の対応・考え方
<p><b>【築港・天保山まちづくり計画等の推進について】</b></p> <p>リノベーションによる飲食店等が海遊館側エリアに立地するのが目立つほどになってきました。リピーター客の重要性をこれまでも強調されていましたが、新型コロナ禍でインバウンド効果がしばらくの間、期待することはできません。</p> <p>そのため、ますます、リピーター客の確保のための工夫が必要です。</p> <p>配付資料(事前配付資料Aの3ページ)にある、シェアサイクル活用による「築港エリアを起点とした区内全域の活性化に繋がる取組み」が重要だと思います。</p> <p>しかし、築港エリアと隣接する港晴・八幡屋エリアを結ぶ千舟橋歩道橋はバリアフリー対策が残されたままです。この歩道橋は、阪神高速道路入口のため設けられたものです。築港住民のためにもバリアフリー化は必要です。実現へむけ阪神高速道路(株)と協議を始めて頂きたい。</p>	<p>ご意見のとおり、新型コロナ禍の状況において、インバウンドや大型イベントによる集客が望めないなか、シェアサイクルの継続や新たに区役所ホームページに「みなとまち倶楽部」を開設するなど、まちのにぎわい創出に向けて取り組んでいるところです。</p> <p>また、ご指摘いただきました千舟歩道橋は、昭和48年に竣工した歩道橋であり、国が定めた「立体横断施設技術基準」で定めている縦断勾配12%以下は満たしていますが、阪神高速道路の出入口車路の高さの確保や、歩道橋前後の取り付け道路との位置関係など、物理的な要因により、バリアフリー法及び大阪市ひとにやさしいまちづくり整備要綱の努力目標である縦断勾配5%以下(沿道の利用の状況等により困難な場合にあっては、8%以下)の基準は満たしていない状況となっています。</p> <p>令和元年6月19日開催の防災・防犯部会でも回答させていただきましたとおり、現時点では、勾配の改善については困難な状況ですが、大規模改修時などの機会をとらえて管理者である建設局と改善策について協議することを再度確認いたしました。</p>